

視聴覚教育時報

No.710 2018年 8月号

contents

▽私のことば「全視連会長に就任して」生田孝至

▽平成30年度 視聴覚・放送教育全国大会 生涯学習部会のセミナー・実践発表など内容
決まる

▽平成30年度「優秀映像教材選奨」／「全国自作視聴覚教材コンクール」社会教育部門
入選作品決まる

▽講師派遣事業 岩手県地域視聴覚教育協議会

▽えすけーぷ

▽私のことば「全視連会長に就任してー地域メディアセンターへの期待ー」

全国視聴覚教育連盟会長 生田孝至

全国視聴覚教育連盟（以下全視連）については、かなり前から視聴覚教育総合全国大会や全国公立視聴覚センター連絡協議会等で視聴覚センター・ライブラリーの活動に関する研究等に関わらせて頂いてきましたが、この度、井上孝美前全視連会長の後任として、加盟団体のみなさん共々視聴覚センター・ライブラリー充実発展の為の役割を担わせて頂く事になりました。

ICT化した社会の中で、メディア環境は多様化し、教育におけるメディア利用は大きく変わってきており、視聴覚センター・ライブラリーも、設置総数を統計から見ると、最盛期の半程度までに減少し、映画や録画教材の貸し出しを行うだけの組織では存在意義が問われているように見えます。

そこで、全視連では、視聴覚センター・ライブラリーの活性化支援策として、ICTを活用しメディアを学び・創り・送り・使うための学習機会をサポートする地域における学びに役立つメディアサービスを行う地域メディアセンターの在り方について研究に取り組んでい

ます。

振り返ってみますと、1995年生涯学習審議会社会教育分科審議会教育メディア部会の報告書「時代の変化に対応した地域における教育メディア利用の推進体制



の在り方について」の中で、“視聴覚教育関係施設、特に視聴覚センター・ライブラリーは、3つの機能を単独で有し、総合的にその役割を果たしていくことが望まれる。その際、教育メディア利用をめぐる新たな動きに対応して、その総合的利用促進を担う施設であることを強調するため、例えば、「メディアセンター」というような名称を用いることも考えられる。”とあります。

つまり、視聴覚センター・ライブラリーのメディアセンター化構想の原点は23年前の報告書にあると言えましょう。

これからの時代、全視連として取り組む課題「地域メディアセンターの在り方」のキーワードは“地域協働”にあると思うのです。

つまり、メディアセンターの役割は、地域でメディアについて学び、創り、送り、使う人々など様々な立場の人々が関わることによって

豊かな学びの場となるメディアコミュニティとして機能する事にあると思います。

全視連として、各地域でそれぞれの視聴覚センター・ライブラリーが、地域の特色を生かしながら地域メディアセンターを目指す活動を積極的に支援したいと考えています。

▽平成30年度 視聴覚・放送教育全国大会

生涯学習部会のセミナー・実践発表など内容決まる

平成30年度の視聴覚・放送教育全国大会は11月16日（金）・17日（土）に広島市で開催されますが、このほど生涯学習部会のセミナーや実践発表についての内容が下記のように決定しました。

▽11月16日（金）広島市映像文化ライブラリー

- ・施設見学・事業紹介（13:30～15:00）
- ・意見交換会（15:00～15:30）
- ・理事会、センター総会（15:30～16:30）
- ・功労者表彰式、レセプション（19:00～21:00
／於：ひろしまおりづるタワー）

▽11月17日（土）広島国際会議場

・セミナー（9:20～11:00）

テーマ：視聴覚ライブラリーが地域における学びに役立つメディアサービスを行うためには、機能をどうリフレッシュさせ、“映画や録画教材の貸出機関”から「ICTを活用し、メディアを学び・創り・送り・使うための学習機会の共有、技術支援、機器及び環境提供をサポートする地域メディアセンター」となるかを検討した研究報告を受け、今後の在り方を考える。

司会者：村上長彦（全視連専門委員長／東京都足立区教育委員会）

基調提言：丸山裕輔（全視連副専門委員長／新潟県阿賀町立上条小学校校長）

意見交換：基調提言の後、司会者と基調提言者に参加者も交えて今後の在り方について意見交換。

・全体会（11:15～11:55）

開会行事、NHKプレゼンテーション、対談（和田竜氏他）、大会のまとめ など

・実践発表（12:50～14:55）

テーマ：「視聴覚ライブラリーの学習支援機能

を考える」

司会者：村上長彦（全視連専門委員長／東京都足立区教育委員会）

発表者①：佐藤 武（広島市映像文化ライブラリー主幹）

テーマ：「子どもを対象にした事業への取り組み」

発表内容：同館では、子どもたちが映画に親しみ、映像文化に関心を持つきっかけとなるよう、「ファミリーシアター」や「活弁ワークショップ」などを開催している。そうした、子どもを対象とした事業への取り組みについて紹介する。
発表者②：渡辺景一（日上市視聴覚センター副参事）

テーマ：「小学校における映像学習支援と地域映画会・特別映画会の開催」

発表内容：小学生対象の映像学習支援の取り組みと実践報告並びに地域への出前映画会及び新たな試みで開催した「ひたちシネマスペシャル」の実践状況を取り上げながら、学校教育と生涯学習への支援状況及び課題について発表する。

発表者③：丸山裕輔（全視連副専門委員長（新潟県阿賀町立上条小学校校長））

テーマ：「感性を育み知性を磨く機能と役割に期待する」

発表内容：情意に訴え認知に働きかける映像教材。メディアのナビゲーターやインストラクターである人材。学習のツールやフィールドとなる機材や施設。視聴覚ライブラリーの特性が、生涯に渡って学びを支援することを提案する。

全国大会HP

<http://www.javea.or.jp/soutai/>

I いいけえ **C** チャレンジしてみんさい **T** ためになるけえ

ICTと映像コンテンツを活用した 未来型授業の創造

大会テーマ／ネットワーク社会におけるメディアとヒューマンコミュニケーション

第22回 視聴覚教育総合全国大会 第69回 放送教育研究会全国大会

合同大会
(広島大会)

1 16 日	●公開保育・公開授業	会場／広島市内各園・校	※1 功労者表彰・レセプションは ひろしまおりづるタワーが会場になります。
	午前 8時30分	午後 12時	19時 21時
	公開保育・公開授業	公開授業・協議会等	移動 受付 ※1 功労者表彰 レセプション
※各園校で公開時刻が異なります。詳しくは、各園校のページをご覧ください。			
2 17 日	●研究交流・施設見学 (生涯学習)	会場／広島市映像文化ライブラリー	
		13時	19時 21時
	研究交流・施設見学	理事会・総会	移動 受付 ※1 功労者表彰 レセプション
●会場／広島国際会議場	午前	午後	
	9時 9時20分 10時	11時15分 12時 12時50分 14時 15時10分 16時30分 17時	
	受付	ワークショップ・セミナー	移動 全体会 昼食・休憩 実践発表 移動 対談・大会のまとめ 移動 抽選会
視聴覚教材・教員展示(最新のICT教材・教具を一堂に展示します)			

会場 開催日 平成30年 **11/16金・17土** 開催地 広島県広島市

■広島市立川内幼稚園 ■広島市川内保育園 ■川内菜の花幼稚園・保育園 ■みのり愛児園 ■広島市立川内小学校
■広島市立城山中学校 ■広島市立広島特別支援学校 ■広島市映像文化ライブラリー ■広島国際会議場 ■ひろしまおりづるタワー

主催／全国放送教育研究会連盟、NHK
視聴覚教育総合全国大会連絡協議会(日本学校視聴覚教育連盟、全国高等学校メディア教育研究協議会、全国視聴覚教育連盟、一般財団法人日本視聴覚教育協会)
共催／中国地方放送教育研究協議会、広島県放送教育研究協議会、広島県小学校教育研究会視聴覚教育部会
広島県中学校教育研究会視聴覚教育部会、NHK サービスセンター
主管／第22回 視聴覚教育総合全国大会 第69回 放送教育研究会全国大会 合同大会(広島大会)実行委員会
後援／内閣府、総務省、文部科学省、厚生労働省、日本教育メディア学会、日本教育工学会、日本教育工学協会、日本視聴覚教員連合会
(公社)映像文化製作者連盟、広島県教育委員会、岡山県教育委員会、鳥取県教育委員会、島根県教育委員会、山口県教育庁
広島市教育委員会、広島市私立保育園協会、広島市立幼稚園長会、広島市私立幼稚園協会、広島県連合小学校長会
広島市小学校長会、広島県公立中学校長会、広島市公立中学校長会、広島県公立高等学校長協会、広島市PTA協議会 (一部申請中)

大会のねらい 今、子供も、大人も、未来の社会を見据えて成長していくことが求められています。私たちは、学習者の資質・能力を高めるために、どのようにタブレット端末や実物投影機などのICT機器に習熟し、放送番組や映像教材などのコンテンツの活用スキルを磨いていけばいいのか。時に冒険もいとわず、継続してチャレンジしてきたその道のりと、秋までの成果をお見せします。
【(I)いいけえ (C)チャレンジしてみんさい (T)ためになるけえ】を広島の地で共有しましょう。



大会コーディネーター
沼田学園女子大学 教授
堀田 博史

▽平成30年度「優秀映像教材選奨」／「全国自作視聴覚教材コンクール」社会教育部門 入選作品決まる

一般財団法人日本視聴覚教育協会主催による標記両コンクールの入選作品がこのほど決定した。両コンクールの表彰式は、9月14日（金）に東京都千代田区の霞が関ビル・東海大学校友会館において開催される。また、全国自作視聴覚教材コンクールの入選作品発表会・審査員による講評なども併せて行われる。社会教育部門における入賞作品は下記のように決定した。

優秀映像教材選奨

■優秀作品賞／7作品（社会教育部門）

〈家庭生活向〉

「あした 咲く」（DVD／36分）東映（株）



「子どもの脳・身体・心が育つ 生活リズムー知識編ー」（DVD／20分）（株）ドラコ
〈市民生活向〉

「ハイウェイで まさか！ー高速道路に潜む危険ー」（DVD／19分）（株）映学社

「どうして盗まれる？個人情報ーネット・トラブルに巻き込まれない秘訣ー」（DVD／24分）（株）映学社

「切り裂かれた未来ー飲酒運転の代償ー」（DVD／26分）東映（株）

「交通事故は防げる！ー事故映像から検証する安全運転のポイントー」（DVD／18分）東映（株）

「Voice!!!ー人権の教室ー」（DVD／38分）東映（株）

全国自作視聴覚教材コンクール

■優秀賞／4作品

「地域医療は、地域が守る。」〈映像教材〉稚内北星学園大学 地域医療プロジェクト（北海道稚内市）

「三途の川」〈紙しばい〉折原由美子（山形県山形市）



「わたしたちの伊賀川ー川とともに生きるー」〈映像教材〉岡崎市視聴覚ライブラリー・おかざき映像教材研究会C班（愛知県）

「ー佐賀の祭りー沖ノ島詣り」〈映像教材〉河道 威（佐賀大学 全学教育機構クリエイティブ・ラーニングセンター）

■入選／5作品

「なまはげの里から 男鹿のうみうしⅢー自由研究、うみうしはなぜ巻貝ー」〈映像教材〉天野大助・天野厚助・天野大武（秋田県男鹿市）

「マタギの伝統ー熊狩りと山の神ー」〈映像教材〉本間正美（山形県西置賜郡）

「ふるさとの児童文学者 須藤克三」〈映像教材〉南陽8ミリクラブ（山形県南陽市）

「道祖神（どんど焼き）」〈映像教材〉永井幹雄（群馬県高崎市）

「糸魚川駅北大火」〈紙しばい〉昔かたり春よこい（新潟県糸魚川市）

※そのほかの入賞作品の詳細や入賞作品上映会などの参加申し込みについては下記URLを参照。

<http://www.javea.or.jp/>

▽講師派遣事業

平成30年度岩手県地域視聴覚教育協議会専任職員等研修会

全視連の講師派遣事業を活用し、当連盟専門委員長の村上長彦氏を講師として、去る6月22日（金）に表記研修会の講演が実施された。

1. 日時：6月22日（金）10：00～12：00
2. 会場：盛岡地区合同庁舎8階講堂A及び試写室
3. 参加者：岩手県内各地域視聴覚教育協議会・ライブラリーの専任職員等8名
4. 講師：村上長彦（全視連専門委員長／東京都足立区教育委員会）
5. 講演テーマ：「生涯学習施設における視聴覚メディアの活用～視聴覚ライブラリーにおけるフィルムの取り扱いについて～」
6. 講演内容：①視聴覚ライブラリーの機能、②視聴覚教材の活用促進、③視聴覚教材の収

集と保存、④視聴覚教材の変遷、⑤16ミリフィルムの基本知識、⑥ビネガーシンドローム対策、⑦映写機の課題⑧今後に向けて

7. 主催者所感：講話では、生涯学習施設における視聴覚メディアの活用をテーマに、16ミリフィルムの構造や劣化に伴う取扱者の健康への影響等、希望した内容を取り上げていただきながら分かりやすく御教授いただいた。参加者にとって非常に参考となる、充実した内容であった。

情報交流会では、16ミリフィルムの劣化を軽減する適切な保管方法等、フィルムの管理に関わる質問が出された。実際にライブラリーの様子を見学しながら、質問に対して丁寧な御回答いただき、県内専任職員等の資質向上を図る良い機会となった。



講和のようす



情報交流会

▽えすけーぷ

【全視連推奨作品調査研究事業】

講師派遣事業を通して映像教材に関するアンケートを実施し、既に終了した所から、アンケート結果が返送されてきています。

このアンケートの目的は、優れた教育映像教材の制作と利用を進めている全視連推奨作品調査研究事業についての認識、市販映像教材の内容と購入の状況、制作希望等について、ライブラリー関係者と利用者の方々に分けてご意見等を頂くことにあります。

まだ、ごく一部の結果に過ぎないので断定的には言えませんが、特にライブラリー関係者の方々の回答を拝見し、全視連推奨作品調査研究事業についての認識が意外に低いという現実に驚いています。

この事業のねらいである優れた教育映像教材の制作提供と利用を進めるために、加盟団体や地域の視聴覚教育関係施設の皆さんのご理解とご協力をお願いしたいです。m

全国視聴覚教育連盟

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-10-11 虎ノ門 PFビル

TEL : 03-3431-2186 / Fax : 03-3431-2192

HP : <http://www.zenshi.jp/>

Mail : info@zenshi.jp

東映 教育ソフト Line-up!

小学校 社会科

なぜなに社会科 映像資料集

DISC1 飲料水・電気

- 知りたい! 浄水場 (11分)
- 知りたい! 火力発電所 (11分)
- 知りたい! 自然エネルギーを使った発電 (14分)

DISC2 ごみ処理・下水道

- 知りたい! 清掃工場 (10分)
- 知りたい! 資源のリサイクル (13分)
- 知りたい! 下水処理場 (12分)



次期学習指導要領に向けた、小学校社会科の新シリーズ。最新の映像、的確な構成で、社会の中の様々な事象を紹介します。とことん映像の力で見せていく社会科教材の王道をいくシリーズです。

監修：東京都台東区立金亀小学校 校長 古谷尚律

DISC1 3タイトル+映像クリップ 本体価格：66,000円(税抜)
DISC2 3タイトル+映像クリップ 本体価格：66,000円(税抜)

小学校 道徳・特別活動・防犯

情報モラルを身につけよう! 小学生のスマホの安全な使い方教室

- 1巻 自分も相手も傷つけないために (21分)
- 2巻 危険な目にあわないために (18分)

スマホを利用してトラブルに巻き込まれる小学生の事例をドラマで描き、子供たちに安全で正しいスマホの使い方をわかりやすく解説した作品です。情報モラルを身につけることの大切さを子供たちに伝えます。

監修：兵庫県立大学環境人間学部 准教授 竹内和雄

文部科学省特別選定
学校教育教材・社会教育(教材)



各巻 66,000円(税抜)
2巻セット 120,000円(税抜)

指導の手引書・ワークシート付き

中学生の消費者教育シリーズ

自立した消費者になろう! 食品の表示と安全を学ぼう!

「契約」を学び「権利」と「責任」を自覚する

中学生が「契約」について理解し、消費者トラブルの解決法と予防法を知り、消費者の「権利」と「責任」を自覚することを狙ったドラマ形式の作品です。



監修：東京経済大学現代法学部教授 弁護士 村千鶴子

教育映像祭優秀賞受賞 (19分) 66,000円(税抜)

食品の表示と安全を学ぼう!

科学的に考える力を身につける

食品表示の基本ルール、食品添加物の役割やその安全基準のメカニズムを、専門家の解説と図や表を交え、分かりやすく描いています。



監修：相模女子大学 栄養科学部管理栄養学科教授 農学博士 三輪操

科学技術映像祭特別奨励賞受賞 (25分) 66,000円(税抜)

お問い合わせ・チラシ請求は

☎ 03(3535)3613 FAX03(3535)3632

予告編
配信中

<http://www.toei.co.jp/edu/>

教育映像 検索



東映株式会社 教育映像部

〒104-8108 東京都中央区銀座3-2-17

(価格は税抜きです) ●学校向け特別価格もございますので、お気軽にお問い合わせください。

<http://www.toei.co.jp/edu/>